

マザーズドリームの法人名の由来

1982年4月に来福された
マザー・テレサとの出会い
あのとマザー・テレサがおっしゃった
「最も悲惨な貧困は孤独であり、
愛されていないと感ずることだ。」
という言葉がずっと胸に刻んでいました。
愛のある心・その手のひらの中には
愛があふれている…
そんな想いが込められています。

“だいじょうぶ
一人じゃない
私達がそばに居るから…”



Mother's Dream
NPO法人 マザーズドリーム since 2020

患者の声は医療をささえる
患者の声をとり入れた医療へ
医療者の声を患者へ

Mother's Dream

NPO法人 マザーズドリーム since 2020

U R L: <https://mothers-dream.org>
T E L: 090-5519-7878



HPIはコチラ



寄付はコチラ

2021年3月31日 第一版

**NPO法人マザーズドリームは
がんになっても
「日々、新しい自分」として輝いて生きる！
そう思える前向きな心を育む
多様ながん包括サポートを目指します！**



Mother's Dream

NPO法人 マザーズドリーム since 2020

ロゴマークに込めた想い

ある日新聞でみかけた小学生の作文「ぼくのお母さんの手」。

父方のおじいさんのお見舞いの際

おじいさんが嘔吐したものを

手で受け止めた母親の姿を見て、

すべてを受容する愛ある行動の素晴らしさを実感したお子さんの話を、

がんにかされた方を愛ある心ですべてを受け止め

がんにかされた方も夢(ドリーム)が持てる様に

勇気づける人生の伴走者でありたい…

そんな想いが込められています。

代表理事のあいさつ

私、牧原啓子は、2015年10月14日に乳がんの告知を受け「どうして、私が…」という思いだけで気持ちが張り裂けそうでした。自らががん患者となり、その闘病中に思ったことがあります。

がんの手術を終えた人や療養中の人たちだけでなく、がんかどうかはつきりしない時や、がんと告知されてから手術を受けるまでの間、不安でどうしてよいかわからない人々、治療が変更になる度、ベストサポーターケアに移行する時、治療して経過観察と言われた後でさえ再発するのではないか、という不安でがん患者さんの心は押し潰されそうになるのです。そんな時、「伴走支援をしてくれるサポートメイトが居てくれたら、どんなに心強いだろうか」と思いました。治療が進むにつれ、自己決定していかなければいけないことが沢山出てきます。何をどう考えて選択すれば良いか、迷うことがとても多いのです。その時、「患者さん達のあらゆる状況に伴走できる仕組みがあると良い」と思いました。その仕組みには、「いつでも、誰でもが、好きな時間に、気軽に、無料で、予約なしで相談できると良いのに」と。そして、そうした経験から、認定サポートメイトや友達みたいな医療従事者がいつも居て伴走してくれる、ITを活用した仕組みをプラットフォーム化したいと考え法人の設立に至りました。

当団体のサポートメイトが果たす役割は、がんに特化するだけでなく、「社会に潜む様々な課題」を解決するために尽力し多様な包括サポートをすることであり、常にそれを目指しています。これからは患者さん同士が、ネットで繋がりサポートメイトに話を聞いてもらい、非対面で生活課題を解決する仕組みを構築し、人々が幸せで豊かに暮らせるように伴走支援できるような仕組みを作ります。

どうぞ、皆さまのご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月22日



NPO法人マザーズドリーム
代表理事 牧原 啓子

■法人概要

法人名:特定非営利活動法人マザーズドリーム
設立認証日:2020年2月4日
所在地:福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル5階(マキハラ内)

■役員

代表理事	牧原 啓子	元総理府(現総務省)事務官として執務。現在、2021年で創業42年になる(有)マキハラ代表取締役社長。
副代表理事	光山 昌珠	公益財団法人福岡県すこやか健康事業団乳がん専門部会委員 北九州市立医療センター名誉院長・参与、外科学会指導医、乳腺指導医・専門医。
理事	松尾 新吾	2007年6月より九州電力株式会社の会長を始めとし、九州経済連合会第7代会長、日本会議福岡会長、東京大学赤門学友会副会長、日本相撲連盟会長など幅広い役職を歴任。
監事	田中 雅敏	明倫国際法律事務所代表弁護士
監事	辻 孝浩	辻・重見税理士法人 公認会計士

■その他協力・支援いただいている皆様

高松泰・田中俊裕・川崎弘詔・合力知工・上玉利由美子・古賀恵里・河野明子・黒木尊子[順不同敬称略]

※その他に医師・看護師・保健師・臨床心理士・医療ソーシャルワーカー・薬剤師・理学療法士・作業療法士・栄養士・社会福祉士など数多くの専門職の方のご支援をいただいております。

サポートメイトとは(伴走支援)

がん患者・ご家族は、「がん」と診断されると大きな衝撃を受けた上に、治療への意思決定や生活・将来への不安、経済的な不安、再発への不安など様々な不安・迷い・葛藤に直面します。そして、がんと共に生きていく様々な場面で、問題に直面しながら人生を送ることを余儀なくされます。

NPO法人マザーズドリームの認定サポートメイト(伴走支援)は、患者さん達に早期から長期的に継続した伴走支援を行います。初期の段階では、針生検～告知のショックと混乱の中にある患者さん達の思いの傾聴、対話を通じて、気持ちの整理や、解決の糸口を見いだすお手伝いをします。初期の混乱が落ち着いた後には、心の肯定的な変化に焦点を当て、生きる希望や前向きな考えを持って頂けるよう、引き続き支援を行います。長期的に継続した支援を行うことにより、病気を得た後の新たな世界観の

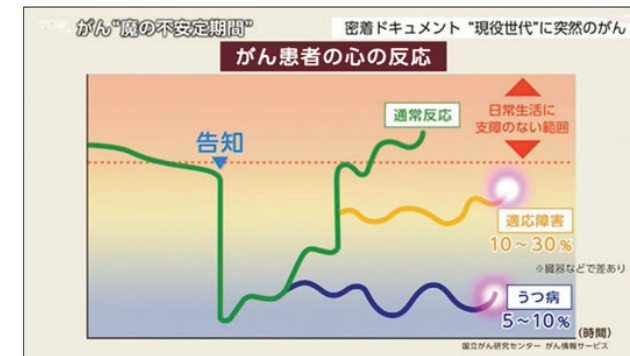
構築や、これからの人生をどう生きていくかなど、患者さんご自身が考えたり、気づきを得るための手助けをさせていただきます。

自らががんを体験し、克服した患者・ご家族は、様々な点において、がん患者・ご家族にとって有益な情報源・支援者になれると思われま。

この活動に共感された方には、サポートメイトの養成講座に応募していただけることを願っております。サポートメイト(伴走支援)は、有給で働けます。

※視覚障害者のランナーが、輪にしたロープを伴走者と握り合って走る姿から、悩みや不安を抱えてこられた患者さん達に安心感・信頼感を持って貰える関係を築き、最初から最後まで伴走していきたいとの想いからサポートメイト(伴走支援)と命名しました。

「がんかもしれない」がんの告知を受けた患者の心の反応

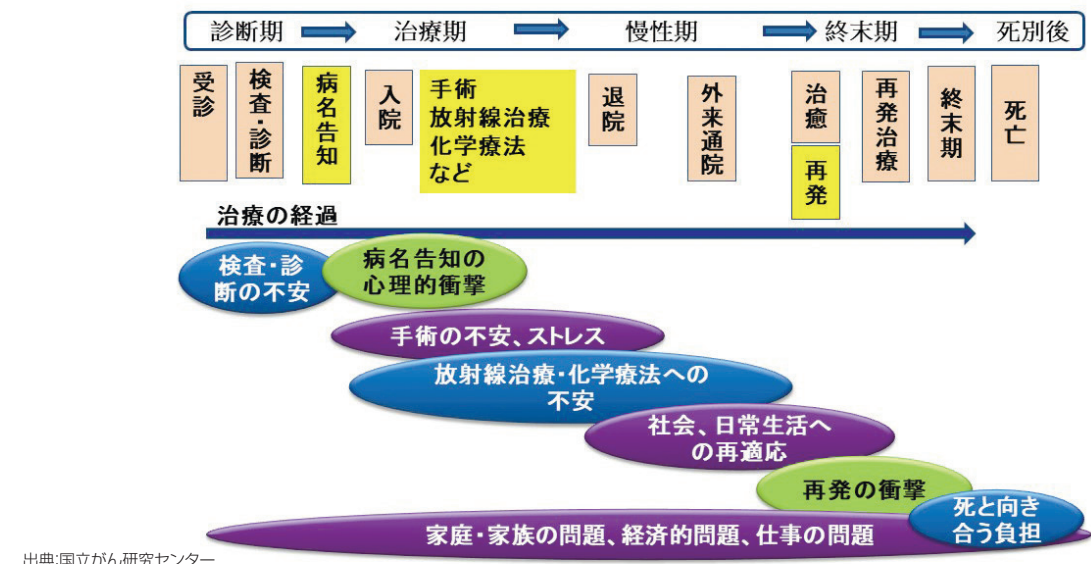


©国立がん研究センター

国立がん研究センターが公表している左図のように、告知された直後などは精神的なダメージが大きく、通常の精神状態ではありません。また告知された人の5～10%の人がうつ病に、10～30%の人が適応障害になるというデータが示されています。まずは精神的なダメージからの回復に焦点を当て、うつ病や、適応障害になる人が少しでも少なくなるように支援をし、そこから早期に社会復帰できるようにする仕組みが必要と考えます。それは、医療費の削減にもつながります。

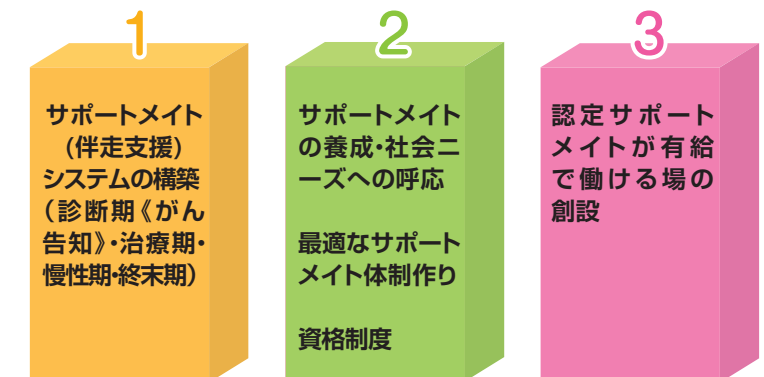
NPO法人 マザーズドリームは、がんの告知を受け不安を抱える方は誰でも、いつでも、好きな時間に気軽に無料相談できる居場所をつくりたいと考えています。もちろん治療中の方、再発された方、治療が終了された方、どなたにでも対応していきます。

治療とこころの変化



出典:国立がん研究センター

NPO法人マザーズドリーム 3本の柱



あなたもサポートメイト(伴走支援)してみませんか?

サポートメイト募集!

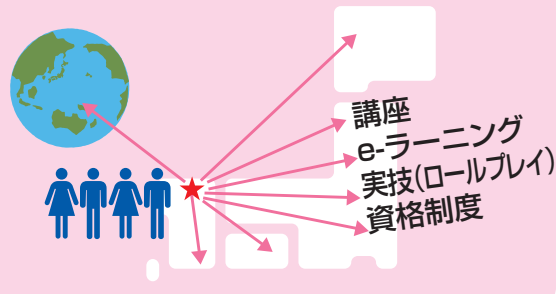
このスキルを身につけることで、あなたは自信を持って「一歩前に進む」ことが出来るようになり、生きる希望や遣り甲斐を見出すことが出来ます。人との繋がりを通して「支える側」と「支えられる側」の両面に気付き、あなたの人生を豊かなものにすることでしょう。活動への皆様のご参加をお待ちしております。

NPO法人 マザーズドリームを目指すもの

[仕組みづくり]

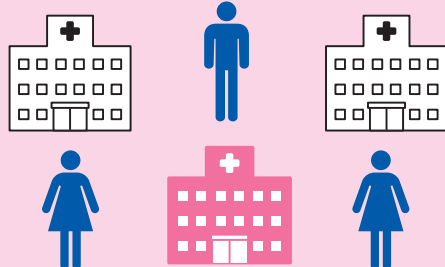
認定サポートメイトの養成

福岡から全国へ！
そして世界へ！



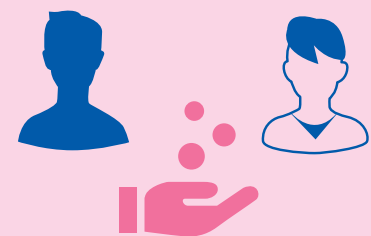
認定サポートメイトの派遣

がん告知時に相談をしたい人の希望に応じて
認定サポートメイトが寄り添える仕組みづくり。
マッチングシステムの構築



認定サポートメイトが有給で働ける環境づくり

認定サポートメイトが働く際に
有給で働ける支援、仕組みづくり



[実践]

QOL(生活の質)の高い環境をつくり 健康寿命を伸ばす活動

医療、人的サポート、暮らしの環境など
地域との共生・共助を図るサポートをしながら
がん患者さんに伴走する



医療従事者との連携による活動

治療の選択、時期や変更の可能性、薬の知識・
効能や副作用、日常生活の注意点などの専門
的なアドバイスやサポートをする活動



がん患者さんとそのご家族への支援

日常生活を営む上での困難を有する
がん患者さんやご家族への支援に係る活動



[調査・発信・協働]

がん患者さん達の 切実な声の調査

メンタル面の回復を図るための行動や発言の
チェックリストの作成と、そのための意識調査
および情報発信



相談事業と居場所づくり

心のケアが行える
いつでも相談できる

- がん告知されて手術する前の方
- がんの手術を終えた方
- 治療中の方
- 治療が終了し経過観察の方
- 再発された方
- 療養中の方



がん診療連携拠点病院の 相談支援センターとの連携

がん診療連携拠点病院などの相談支援センタ
ーと連携し当法人が業務の一部を病院から受
託(協働)することにより、がん罹患者とその家
族が予約なしに行きたいときにいつでも行け
る、心の不安に寄り添える居場所づくり



プラットフォーム事業創設

Mission: マザーズドリームの使命

患者の声を
取り入れた医療
医療者の声を患者につなぎ、
あなたが幸せで豊かに
暮らせるように伴走支援する

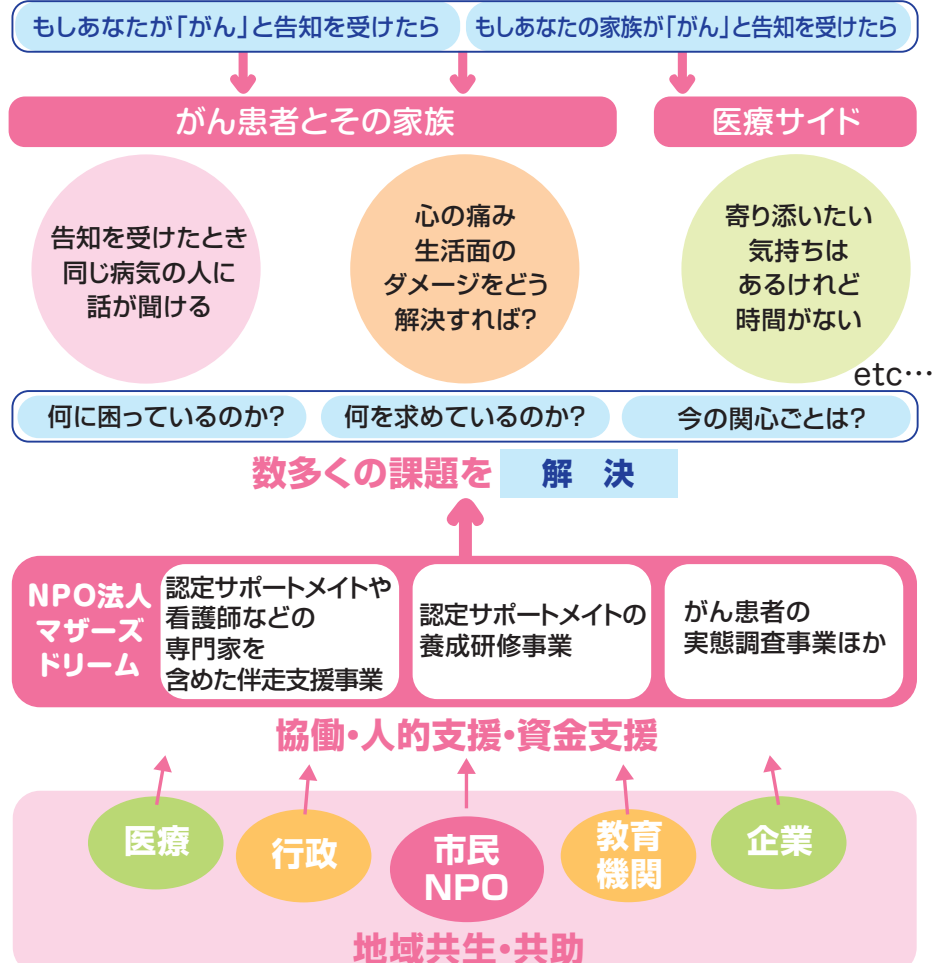
Vision: マザーズドリームが実現したいこと

サポートメイトを通して、
がんになっても不安や孤独に
苛まれることなく語れる居場所作りや
安心した生活ができる社会を創る

Value: マザーズドリームの行動指針

- ★サポートメイトとして、がんの診断時から終末期まで患者・家族に伴走します
- ★がん患者・家族の思いに寄り添うことができるよう、サポートメイトとしての自己研鑽をつみます
- ★サポートメイトとして、患者・家族が思いを話せるように伴走します
- ★サポートメイトとしての人間性・感性を磨き・自己コントロール能力を高めます
- ★サポートメイトの活動を、社会へ発信する力を培います

NPO法人 マザーズドリームの 取り組みとは？



がん経験者の声



(M.S 40代女性)

まずは落ち着かないと思ったが、検査の結果を聞くまでは何も手につかない状態でした。



(R.R 30代男性)

仕事に復帰できるのか、いろいろなことで不安になった。



(O.T 40代男性)

治療が終わり放り出されたような気持ちになり不安だった。



(N.M 30代女性)

乳がんと診断され、仕事のことをどこに相談したらいいかわからなかった。



(T.T 50代男性)

目の前が真っ暗になり、医師の説明が耳に入っていない。誰に相談すればいいかわからなかった…。



(T.K 40代女性)

抗がん剤の影響で、症状・副作用・後遺症が辛く、その対処を知りたかった。



(K.H 50代女性)

医師とのコミュニケーションがうまくいかず、誰かに相談したいと思った。



(Y.T 60代男性)

先進医療、代替医療、民間療法なども気になってしまい、自分を見失いそうだった。



(K.H 40代女性)

経済的な問題に直面したため、お金のことを相談しにくくて困った。



(S.T 40代女性)

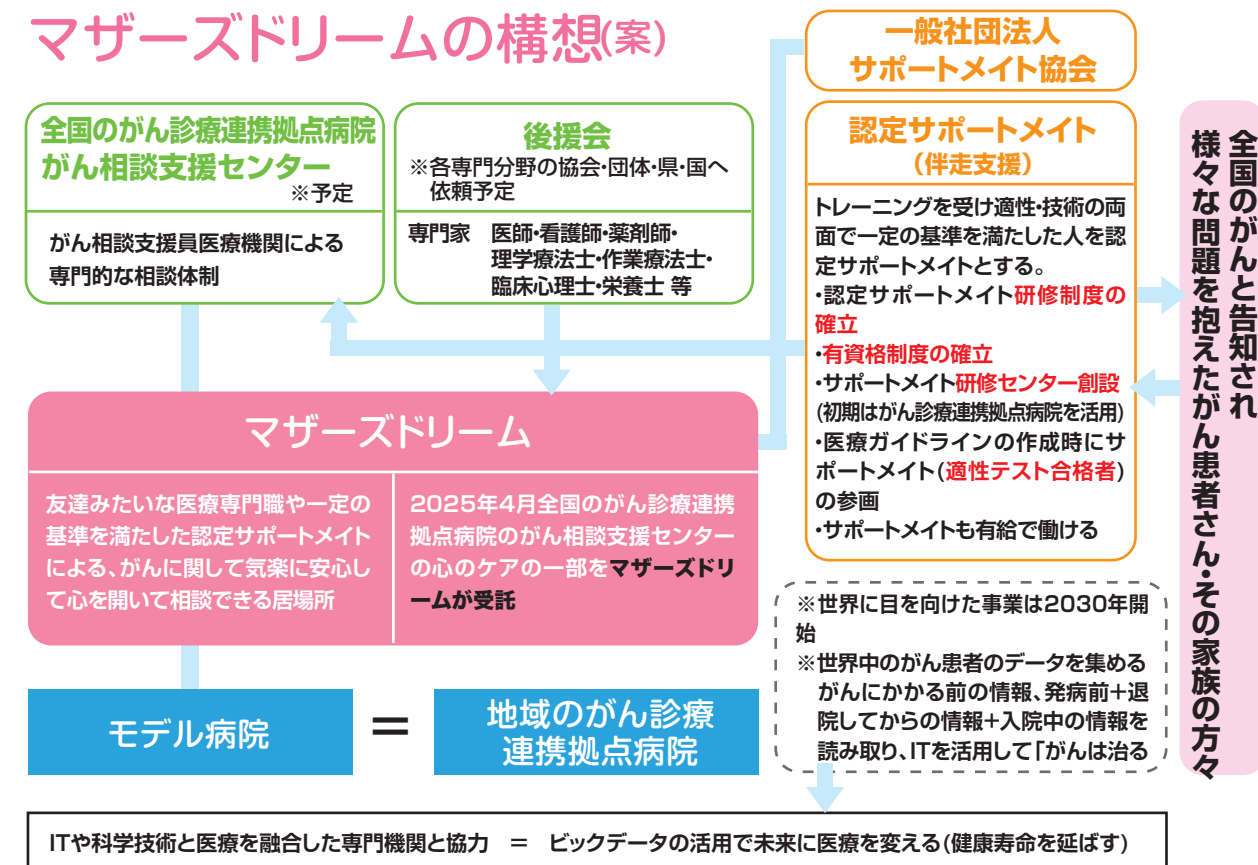
とにかくネガティブな発想が付きまとい、どうがんに向き合えばいいのか？生き方そのもので悩んでしまった。



(M.T 60代女性)

夫が胃がんで入院し、どのように会話すればいいか、まるで腫れ物に触るような状態で、接し方で困難を感じました。

マザーズドリームの構想(案)



マザーズドリームを通してあなたができる支援の形

がんとの共生という国の支援制度は「就労」に重きを置いており、病気によって精神的なダメージを受けている方々に対する支援が充分とは言えません。NPO法人マザーズドリームの活動を通して早期の社会復帰につながるように伴走支援していきます。

認定サポートメイト育成と有給で働く場の提供	1期生は5～10人育成する。学科はe-ラーニング、実技は体験学習を通してサポートメイトの資格を習得する。医療・企業・行政・社会などでサポートメイト(伴走支援)の活動をする。
安心できる居場所と研修センターの設置	1階:どうしたら良いかわからないときなど、いつでも、だれでも好きな時間に、気軽に、無料で予約なしに行ける我が家みたいな居場所。 2階:医療・企業・行政・社会のニーズに合わせたサポートの質向上の為の研修施設。
医療・企業・行政・教育機関・市民/NPO 社会への貢献	認定サポートメイトを派遣することにより、医療・企業・行政・教育機関に従事する人々、市民/NPOなどへの予防的メンタルケアを行い、安心して社会活動ができる環境を整備する。

マザーズドリームの活動へのご支援のお誘い

法人の主旨にご賛同いただける方は、個人、法人・団体を問わずどなたでもご入会できます。入会を希望される方、活動に賛同し寄付による支援をしていただける方、多くの方のご協力をお待ちしています。

■会員の種類と年会費について

- 1.個人賛助会員(年間一口3千円)** ※1日=8.2円
3千円×()口=()円の賛助者として応援する。
- 2.法人賛助会員(年間一口5万円)** ※1日=136.9円
5万円×()口=()円の賛助者として応援する。

[寄付による支援]

■インターネットでのご寄付の方法

公式HPの寄付ページにアクセスしてください。 <https://mothers-dream.org/donate>

■会費・寄付の振込先

- ゆうちょ銀行
七四八(ナナヨンハチ)店 普通 90707110
トクヒマザーズドリーム
- 西日本シティ銀行
本店 営業部 普通 3506460
- 福岡銀行
博多駅前支店 普通 3418841

※②、③口座共通名義
トクヒマザーズドリーム 理事 牧原啓子
※恐れ入りますが、振り込み手数料は会員様でご負担お願い致します



HPはコチラ



寄付専用

